

「至誠」



旭陵同窓会関西支部長
上村 繁典
(48期)

中之島フェスティバルホールで落語? コンサートではないの? 手にしたチケットを眺めつつ、桂春蝶の襲名披露「来てのお楽しみ」の活字にも興味を惹かれ、真新しいホールに出かけました。えー? 高座の横にグラブドピア。彼はいろいろな話を披露した後、弦楽四重奏をバックに「愛する子供たちへ」という作文を曲にして歌い出したのです。最後は彼の子供の話かと思いつつ聞いていくと全く違っていたのです。実は、先代桂春蝶は晩年、極度のアルツハイマー病でした。愛する子供たちとはこの病で子供返りした春蝶(親たち)のことを言っていたのです。子供の彼がご飯をこぼすそそりしを親たちは決して怒ることなく優しく愛情を持って育ててくれたことを、今、あの時愛情を持って育ててくれたと同じ気持ちで親たちを介護してあげてくださいというメッセージを歌に託して示してくれたのです。それは、妹に任せるばかりの米寿を過ぎた母と過ごした故郷を思い起こさせてくれました。2代目桂春蝶に感謝です。

下関に帰る機会をとの思いの中、大河ドラマ「花燃ゆ」の舞台でもあり松下村塾の思いが「至誠」と



発行人
旭陵同窓会関西支部長
上村 繁典
印刷所 富士精版印刷株式会社
TEL. 06-6394-1181



旭陵同窓会会長
木下 毅
(37期)

平成27年度旭陵同窓会関西支部総会が盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。旭陵同窓会の会長になってもう3期目になりました。100周年実行委員長も引き受けているので、もう少し続けようと思っています。オリンピックの前年の2019年の下関西高創立100周年記念事

西高創立100周年に向かって

も聞き及び、久しぶりの萩を旅しました。思い通り吉田松陰先生遺訓「至誠而不動者未之有也」の複製書「至誠」の台紙を手に入れ、早速会社に飾りました。実は当社の社訓「至誠一貫」が正に松陰先生の座右の銘と通じているからです。毎年新入社員への挨拶に社是・社訓を引用するのですが、今年は特に力をこめて事詳しく話をしました。松下村塾での希望に燃えた若者たちの切磋琢磨する姿は社員力が勝負を決める今の時代にこそ必要と改めて感じると共にそういう指導と環境を与えることが私の残された役目と思っています。その意味でも、本年の関西支部総会での桐村先輩のご講話が本当に楽しみであります。

9月の総会には会員の皆様には是非出席賜り明日の活力につながる楽しい一日を過ごして頂ければ幸いです。



山口県立
下関西高等学校校長
首藤 裕司

新任のごあいさつ

旭陵同窓会関西支部の皆様には、ご健勝にてご活躍のことと心からお喜び申し上げます。同窓生の皆様方には、平素から本校の教育推進に格別のご理解とご支援をいただいておりますことに対し、深く感謝申し上げます。

私は、この4月にご退職された田坂祐治前校長先生の後任として、着任いたしました首藤と申します。「天下第一関」の校是のもと、まもなく百周年を迎える歴史と伝統ある本校の校長として、身の引き締まる思いと大きな責任を感じております。微力ではありますが、これまで得てきた知識や経験を本校教育の発展に生かすとともに、日々の教育活動に全力を尽くす所存です。これまでと変わらず、各界でご活躍の同窓生の皆様のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、本校全日制では進路指導

業がかなりつまってききました。今のブルーを2016年夏には取り壊して、セミナーハウス(仮称)を建てる予定にしています。免税になる寄付金を来年度から2年間で集める予定です。ご協力をよろしくお願い致します。

数年前、アフガニスタンで医療活動をされている中村哲さんのお話を伺いました。改めて日本人と分かつととても尊敬されたそうです。それは2つの理由からでした。一つは日露戦争に負けなかった事です。アフガニスタン人は地理的な関係でもロシアの強さと怖さを知っていたからです。これで日本

を中心に組織的な学校運営を進めているところですが、今春の大学入試では、現役の合格率・進学率が大幅に上昇し、昨年度より20名増加した105名が現役で国立大学に合格するなど、着実に成果をあげてくれました。関西方面への進学者も、阪大、神戸大の国立大学や関関同立を始めとした私立大学に、過年度卒業生も含めて多数が合格しております。後期試験で合格者が多かったのもこの度の特徴でもあります。最後まで目標に向けてあきらめない姿勢は素晴らしいものであったと思います。

また、定時制の生徒たちもそれぞれの目標に向けて努力しており、さまざまな教育活動に熱心に取り組んでいます。

4月8日には、全日制普通科200名、理数科40名、定時制普通科9名の合計249名が新たに西高生となりました。式辞では、「高い塔を建ててみなければ新しい地平線は見えない」という小惑星探査機「はやぶさ」の川口淳一郎プロジェクトマネージャーの話をしたところです。生徒たちには高い志を持って日々大切な高校生生活を積み重ねていくことを願っています。

もロシアの属国になってしまうのだと、かわいそうだと思っていたこと。それが負けなかった事で尊敬していると。2つ目は唯一の被爆国である事、第二次世界大戦後の荒廃から見事に立ち直り経済大国にまでなった事を尊敬しているという事だそうなんです。

外国の人から学んだような感じがします。今まさに日本の良さや伝統を再認識すべき時期ではないでしょうか。下関西高同窓生は日本の指導的立場になられる方々です。100周年に向けてさらなる活躍をされることを大いに期待をしています。

を中心に組織的な学校運営を進めているところですが、今春の大学入試では、現役の合格率・進学率が大幅に上昇し、昨年度より20名増加した105名が現役で国立大学に合格するなど、着実に成果をあげてくれました。関西方面への進学者も、阪大、神戸大の国立大学や関関同立を始めとした私立大学に、過年度卒業生も含めて多数が合格しております。後期試験で合格者が多かったのもこの度の特徴でもあります。最後まで目標に向けてあきらめない姿勢は素晴らしいものであったと思います。

また、定時制の生徒たちもそれぞれの目標に向けて努力しており、さまざまな教育活動に熱心に取り組んでいます。

4月8日には、全日制普通科200名、理数科40名、定時制普通科9名の合計249名が新たに西高生となりました。式辞では、「高い塔を建ててみなければ新しい地平線は見えない」という小惑星探査機「はやぶさ」の川口淳一郎プロジェクトマネージャーの話をしたところです。生徒たちには高い志を持って日々大切な高校生生活を積み重ねていくことを願っています。

を中心に組織的な学校運営を進めているところですが、今春の大学入試では、現役の合格率・進学率が大幅に上昇し、昨年度より20名増加した105名が現役で国立大学に合格するなど、着実に成果をあげてくれました。関西方面への進学者も、阪大、神戸大の国立大学や関関同立を始めとした私立大学に、過年度卒業生も含めて多数が合格しております。後期試験で合格者が多かったのもこの度の特徴でもあります。最後まで目標に向けてあきらめない姿勢は素晴らしいものであったと思います。

また、定時制の生徒たちもそれぞれの目標に向けて努力しており、さまざまな教育活動に熱心に取り組んでいます。

4月8日には、全日制普通科200名、理数科40名、定時制普通科9名の合計249名が新たに西高生となりました。式辞では、「高い塔を建ててみなければ新しい地平線は見えない」という小惑星探査機「はやぶさ」の川口淳一郎プロジェクトマネージャーの話をしたところです。生徒たちには高い志を持って日々大切な高校生生活を積み重ねていくことを願っています。

関高 平成27年度 旭陵同窓会関西支部総会案内

- 日時: 平成27年9月6日(日) 10:30~15:00
- 場所: ブリーゼタワー内 BREEZE PLAZA(ブリーゼプラザ) ※前回までと会場が異なります
〒530-0001 大阪市北区梅田2-4-9 ブリーゼタワー 7-8階 ☎06-6344-4888
(地下鉄四つ橋線西梅田駅より徒歩3分、JR大阪駅、阪神梅田駅、JR東西線北新地駅より徒歩5分)
- 来賓: 木下同窓会会長、本部役員、首藤(新)校長
- 会費: 8,000円(家族3,000円、81期以降2,000円)
- 式次第: 10:30~11:00 総会

軽装・ノーネクタイで
ご出席下さい

ブリーゼプラザへのアクセス



※同窓生をお誘い合わせの上是非ご出席下さい。(ご家族の参加も歓迎)

※つり銭のいないようご準備下さい。

※なお、同封葉書にて出欠の連絡を7月31日までにお願いします。(欠席の場合も名簿整理上必ず返信をお願いします。)

※回答後、出欠等の変更がある場合は、事務局まで必ず連絡して下さい。

詳しくは旭陵同窓会関西支部のホームページ(<http://www.kyokuryo-kansai.jp>)をご覧ください。

11:10~12:30 特別講演 桐村 晋次氏(33期)

◆演題◆『松下村塾の人材育成法と現代への応用——志士はぐくんできた下関の風土』



◆要旨◆ 吉田松陰が松下村塾を指導したのは、わずかに2年4か月。にもかかわらず、2人の総理大臣をはじめ近代日本の幕開けに活躍した多くの人材を輩出している。そこではどんな教育が行われ、また、師を失ったのち10年近くの間、門下生が集まってどんな勉強会を続けたのだろうか。桂小五郎、高杉晋作、久坂玄瑞、伊藤博文、山縣有朋ら、一人一人の育ち方、学び方を追う「キャリア・ヒストリー」の研究によって、その共通項を引き出して、松下村塾の育て方の特徴をつかみ、現代に応用する方法を考察した。同一年齢の者が、用意された教材によって、教師の指導を受ける今日の学校教育とは異なり、身、年齢、学力レベルがバラバラの若者が集まって正解のない課題に取り組んだ学び方は、私たちに多くのヒントを与えてくれる。

桐村 晋次氏 略歴

1937年下関市生まれ。1963年東京大学法学部卒業後、古河電気工業に入社。人事部長、取締役経営企画室長、常務取締役を経て、古河物流社長。この間、筑波大学大学院(夜間)カウンセリング専攻修了。神奈川大学経営学部教授、法政大学キャリアデザイン学部教授、同大学院経営学研究科教授、神奈川大学特別招聘教授、日本産業カウンセリング学会会長、人材育成学会理事を歴任。40年にわたり、松下村塾の人材育成について研究し、同テーマでの月刊誌への連載、新聞・雑誌への寄稿をはじめ、企業・教育研修機関での講演も多く行っている。主な著書に、『人材育成の進め方』など。

12:30~15:00 懇親会

平成26年度 総会の報告

当番幹事 杉本 敏男(61期)

去る9月7日の日曜日、平成26年度旭陵同窓会関西支部総会に出席させていただき、当番幹事として司会進行役の機会を頂戴いたしました。総会前の役員会に全く参加できず、当日ぶっつけ本番状態で臨むことになりご迷惑をおかけいたしました。役員の方々の温かいご配慮により何とか形だけでも進行させることができました。

当番幹事でありながら司会に限らず、準備、受付、その他の運営すべてを役員の方々に御世話になり、この場をお借りして御礼申し上げます。

皆様のおかげをもちまして、総会とは同窓会、下関市その他のご来賓の先生方のご臨席のもと、盛會裡に開催されました。特別講演には61期で大阪赤十字病院泌尿器科勤務中の高橋様より、前立腺と頻尿にまつわる話題をユーモアを交えて講演され、また、58期の西原様からは現代の荒行である大峰奥駈修行について、実体験とほら貝演奏によるリアルな講演をいただきました。いずれも興味深く拝聴させていただきました。



植田 恵理子 (56期)

「ふるさと下関」から

皆様のおかげをもちまして、総会とは同窓会、下関市その他のご来賓の先生方のご臨席のもと、盛會裡に開催されました。特別講演には61期で大阪赤十字病院泌尿器科勤務中の高橋様より、前立腺と頻尿にまつわる話題をユーモアを交えて講演され、また、58期の西原様からは現代の荒行である大峰奥駈修行について、実体験とほら貝演奏によるリアルな講演をいただきました。いずれも興味深く拝聴させていただきました。

下関市企画課の植田と申します。昨年に引き続き、平成26年度関西支部同窓会にお邪魔をさせていただきました。総会に続く、聞いて楽しく、ためになる特別講演、そして終宴に近づくにつれて熱気を帯びてくる懇親会と、和気あいあい温かな雰囲気は、昨年と変わらずで、下関市職員としてのお仕事「ふるさと下関応援寄附金」のお願いをすることをお願いしてしまいました。そうなくらいでした。

ふるさと応援寄附金は「ふるさと納税」のことです。毎年、関西にお住まいの方々から、多くの寄附をお寄せいただいております。

この日も、ご出席の皆様からご支援いただきました。本当に有難うございます。心から、お礼申し上げます。

さて、皆様は最近帰郷の機会はいかがでしょうか。下関駅前が装いを新たにリニューアルしています。三角屋根の旧駅舎が火災で消失したのが平成18年1月。その後、下関駅にぎわいプロジェクトにより、駅舎、駅ビル、シネマコンプレックス、交通広場等が整備されました。新しい駅ビルの正面には、三角屋根のシルエットもデザインされています。本市の玄関口として、より魅力ある機能を備え、「ふるさと下関」は今までもどおり、皆様のお帰りをお待ちしております。

旭陵同窓会関西支部の皆様におかれましては、これからも温かく、時に厳しい目で、下関を応援してください。また、下関市職員としてのお仕事「ふるさと下関応援寄附金」のお願いをすることをお願いしてしまいました。そうなくらいでした。



懇親会場にて、ふるさと納税受付中。

当番幹事 藤村 一正(61期)

この度は至らないところもあつたとは思いますが、幹事をなんとかこなすことが出来ました。と言っても役員の方々が、準備から運営まで全てサポートしてくれました。特に構えるようなことはありませんでした。この場をお借りして、関西支部役員の皆様方に御礼を申し上げます。

その幹事のため、初めての旭陵同窓会関西支部総会に出席しましたが、本場に久しぶりの同郷、同窓会の方々が集まり、とても居心地良く感じることが出来たように思いました。

下関を離れ30年以上が経ち、実家以外で下関との関わりは、極少数の同窓との年賀状のやりとりだけでしたが、フェイスブックで繋がった後輩をきっかけに、再び同窓とのつながりが出来てきて、あれやこれやのうちに同窓会関西支部総会の幹事を承ることになっていました。一度、役員会にも緊張しながら参加しましたが、年齢が違えどやはり同窓のよしみでしようか、私が張ったバリアは簡単にとつばらわれ、すっと入り込めたことをとても嬉しく感じました。

幹事として半ば強制的に参加させられた総会でしたが、出てみると意外と良い集まりです。これを機につながりを広げていきたいと思っています。

下関市内に住宅を購入・建築し、「移住」する方を支援します。

移住者新築住宅 購入支援助成金

最大100万円相当を支援

※各補助金の受給には要件等がありますので、詳しくは下記までお問い合わせください。

お問い合わせ ●下関市総合政策部企画課 ☎083-231-1911 ✉sskikaku@city.shimonoseki.yamaguchi.jp



届けたい、お菓子という夢。

Making Communications Together
MACOTO 誠



〒578-0957 東大阪市本庄中2-1-2
TEL 06-6748-3838
代表取締役CEO 上村 繁典(48期)

万一ガスが漏れたとき、ガス漏れ検知警報器が発報しなかったら、大事故につながります。警報器の点検整備は当社にお任せください。

有限会社 西村電機サービス

取締役会長 西村 勲 (33期卒業)

〒599-8253 大阪府堺市中区深阪 6-7-26
TEL(072)236-9508 FAX(072)230-2204
携帯 090-4295-4857
E-mail info@nds-mente.co.jp

ご家庭からコンビニートまで明日の安全を見つめています。



木下同窓会本部会長挨拶



判野本部幹事長挨拶



上村支部長挨拶

平成26年度 第21回総会

於:大阪弥生会館
平成26年9月7日(日)



乾杯



集合写真



集合写真



総会



集合写真



エール



二次会



懇親会



懇親会



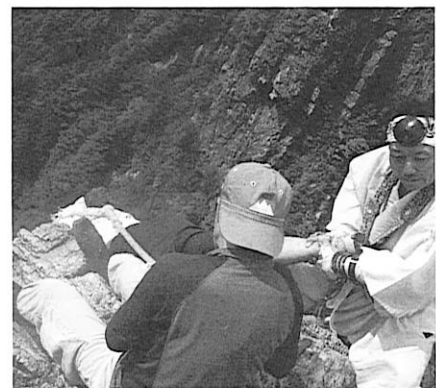
二次会



懇親会



校歌斉唱



「西の覗き」

◆山の中で、自分と自然が一体化してゆくことを感じることで、修行之素晴らしさを是非皆さんにも大峰山で経験してみてください！

◆この修行を続ける原動力はやはり仲間の山伏さんの存在です。もう今回で最後と思っても、終わって大阪のお寺で御礼講座を焚き、直会後先達さんに「来年もまた来てね!」と言われると、なぜかまた参加してしまうのです。

◆2004年に、当時住んでいた江坂の単身赴任専用マンションの「大峰講」なるものに初めて参加し、現在では山伏修行の中でも最も荒行と言われている吉野から熊野までの140キロを歩く「大峰奥駈修行」に毎年参加させていただき今年で3回目の満行を迎えます。

◆「仕事も修行も一生懸命やりなさいや!」「ハイ!」と答えた途端、いきなりずるっと谷底目がけ落とされる。これが大峰山名物「西の覗き」です。



西原 浩孝氏
(58期)

大峰奥駈修行について

◆◆◆講演者ひとこと◆◆◆



◆今後の総会でこれらの話が聞けるのを楽しみにしています。

◆事前に数回開かれた運営委員会で多くの先輩後輩方とお会いし、関西の同窓生の数の多さと活躍分野の多彩さに感心しました。西高も案外大したもんだと。

◆今回の講演テーマは聴衆の年齢性別構成からみてピッタリだということですが、幹事みずから飲み会で聞いた話には私のよりも面白そうな話がたくさんありました。グランフロント建設計画の話、大阪ガスの話、お菓子メーカーの奮闘の話、これからの金融情勢、トルコ接待旅行の話、能の話、USJはポルトアイランドにあったかもしれない話、などなど。

◆高校卒業後30年の幹事学年で初めて同窓会の関西支部の存在を知りました。ずっと関西近辺にいたのに残念かつ申し訳ない話です。



高橋 毅氏
(61期)

講演会余話

支部行事報告

秋のハイキング

山田 浩幸(56期)

11月2日(日)に旭陵関西の秋季ハイキングが実施されました。

今回は、私が現場代理人を務める名塩道路八幡トンネル工事と、JR旧福知山線の廃線を巡るトンネルハイキングでした。

午前中は、現在建設中の名塩道路八幡トンネル工事を見学しました。ハイキング当日は日曜日で作業は行っていないでしたが、都市部で用地が制約されたなかで、地元住民や近接する重要構造物への影響に配慮して施工中の超近接無導坑メガネトンネルという珍しいトンネルの施工手順や施工上の課題に対する対策などを説明しました。

日頃、目にするのではないトンネル工事現場の見学で、参加者の皆さんは、トンネル工事用の特殊な機械やトンネルの規模の大きさに驚いている様子でした。

旭陵同窓会関西支部のメンバーとして、先輩・後輩に職場である工事現場を見学していただき、「今後も頑張れ」との激励の声をかけていただいたことを大変心強く感じました。

現場のプレゼンルームで昼食を済ませて、一路、旧福知山線の生



八幡トンネル

瀬駅・武田尾駅に至る廃線トンネル(7本)と鉄橋他を周囲の絶景を眺めながらハイキングしました。

現在は、西宮名塩トンネルにより西宮名塩駅・武田尾駅を3分程度で結ぶJR福知山線ですが、実際に旧線を歩いてみると、トンネル坑内は真っ暗で、煉瓦や石積による覆工が行われており、ヘッドライトをつけてトンネルに入るたびに施工時の技術や施工の苦労が目に見えようでした。

最終のトンネルを抜けて武田尾駅に着く頃には既に日も暮れ、少し予定時間をオーバーしたものの、日頃見ることのできない壮大な景色や昔のトンネル施工状況などを観察しながらハイキングできたことは良き思い出になりました。

その後、JRに乗って武田尾駅から宝塚駅まで行き、反省会で再び盛り上がりました。

一杯目のビールの爽快さは格別のものでした。

お天気の方は、一時パラパラと雨も降りましたが、ハイキングの支障となるものではなく、最後まで



旧福知山線トンネル(左端が山田氏)

で傘なしで完歩できました。今回のハイキングは、「トンネル」というキーワードでトンネル建設工事現場と旧線の廃線トンネルを歩くものでしたが、なんとか無事完歩できました。



反省会(宝塚)

春のハイキング

大野 靖人(52期)

第27回 春の旭陵ハイキングで、4月5日「姫路市立美術館」、「兵庫県立歴史博物館」、「姫路城」を訪れました。

前日から天気予報は雨だったものの、旭陵ハイキングは従来から雨天決行で、今回も予定どおり開催されました。コースは平坦な道で、約4・6kmとショートコースでした。

駅から姫路城へ向かうと、大手前公園で「姫路グルメランド」が開催されており、酒の肴に丁度いい「粉もん、おでん、つまみ揚げ、甘味、調味料など」を販売していました。気温は雨のせいややや低めでしたが、早々とビールを片手にブラブラと歩き始めました。

今回の世界文化遺産「国宝姫路城」は、大天守保存修理工事が完了したばかりで、「白鷺城」と呼ばれるとおり白漆喰で塗られた城壁の美しさは見事でした。リニューアルオープンは3月27日からで観光客で賑わっていました。

秋のゴルフ

旭陵会ゴルフに優勝して

藤田 克雄(35期)

十月十一日、上村支部長がメンバーの名門、花屋敷、よかわコースで好天の下、開催されました。

「図らずも」という言葉どおり、ダブルベリアで優勝しましたが、悪いスコアのホールと、まあまあのホールがうまく噛み合った結果で決して実力ではありません。

でも、お蔭で安田さんの素敵な賞を頂きました。

ただ残念なことは私が最年長者だった事。小生は未だ七十五歳、もっと先輩の方も参加して会を盛り上げて欲しいものです。



秋のコンペ(前列左から2人目が藤田氏)

三の丸広場・姫路市立美術館で記念写真を撮り、兵庫県立歴史博物館に向かい、姫路城を半時計回りでグルリと散策しました。

お濠に沿った桜並木は本当に見事で、一般観光客が知らないルートなのか人は少なく、日々の疲れを癒すことができました。一周すると大手門駐車場は観光バスで満車となっており、更に駐車場に入るバス・マイカーで道路は渋滞していました。やはり、公共交通機関がベストです。エコに良いですね! 姫路城の中は観光客で大混雑。登閣には整理券を受け取り



姫路城をバックに

約1・5時間の待ち時間。

雨が一段と激しくなり、我ら一行はその行列を横目に城内を進み、お腹が空いた頃に市立動物園に避難。手頃なステージで昼食。差し入れのワイン・日本酒、ビールで喉の渇きを潤し、何時ものごとく親睦を深めることができました。

帰りには、単独行動とさせていただき、再び「グルメランド」を訪れ、夜の肴を調達しました。

旭陵ハイキングは年2回開催されますが、最近参加者が減ってきています。皆様も一度参加してみませんか!



姫路市立美術館(後列左端が大野氏)

阿武山こどもクリニック

院長 岡本良三(46期)

〒569-1041大阪府高槻市奈佐原2丁目3-22
TEL072(690)3225 FAX072(690)3226

西山眼科

院長 西山 和夫(44期)

〒552-0016

大阪市港町舳先2-13番地-24

(正規の住所ではありませんが、ご本人の希望です)

電話: 06-6576-0323

大阪市営地下鉄「朝潮橋」徒歩2分
やき鳥屋と酒屋の間





集合写真(源助)

日帰り旅行に参加して

安野 洋(33期)

旭陵同窓会関西支部の日帰り旅行は今年度で12回目を迎えたことになる。総会が9月、春と秋にはそれぞれハイキングとゴルフ大会が行われるところから冬季の行事として企画され、はじめは毎年行く先が変わったが、私には景観保存の論争が起る前の瀬の浦旅行しか思い出せない。その後、一度行ってよかったことから山陰の香住地方への「カニツアー」が定着して、今回で12回目を迎えた。目的地は佐津の「源助」であるが、一度だけ浮気をして香住駅近くに

第12回 日帰り旅行

2015年1月25日(日)
於 城崎・佐津

ある「さだ助」に変更したことがあった。部屋が大きく、綺麗ではあったものの、肝心の「カニ料理」の内容を比べてみて全員の賛成で「源助」への復帰がきまつて現在に至っている。

このツアーが始まって以後毎年のように参加し、ある時は降り積もった大雪と戯れたり、山陰線鐵橋が運用を終了する直前に列車での渡り終えを経験したこともあった。また、餘部駅からほど近いところにある大乗寺は、円山応挙とその一門により描かれた多数のふすま絵を目にするのができ、望外の饒幸に恵まれたこともあった。にも拘らず、しばらくの間参加を取りやめていて、今回は確か5年ぶりの参加であった。「カニツアー」の魅力は、当然ながらおいしいカニが食べられることにあるが、私自身は九一をかけて遠くまで出かけるほどのカニ好きではなく、また温泉に浸かる趣味を持ちあわせているわけでもない。では何故再度参加してみたくなかったかといえば、行き帰りの列車内を含めた同窓生との交流にあることに気付いたからに他ならない。午前中からのビールやワイン、差し入れの醸造酒が語り合いをさらに盛り上げてくれるのもうれしい限りである。今回の参加者は29期の小野さんから59期の金谷さんまでの21名であったが、多くは前述の魅力に取りつかれた福田さんをはじめとするおなじみのメンバーに新規の



カニすき



カニ三昧

数人が加わった仲間たちである。大阪駅を出発した列車は2時間40分あまりで城崎温泉駅に到着し、さらに普通列車に乗り換えて20分で佐津駅につくと民宿「源助」からの迎えのマイクロバスが待っている。11時半にカニ料理とのお対面であるが、5年前に比べてカニの質・量ともさらによくなっている印象であった。今回は城崎での自由時間を1時間短縮して食事の時間を長くしたとのことであったが、メインイベントは東の間に終

「まなび旅下関 高杉晋作編」に参加してきました

竹内 正文(44期)

山下晋司氏「東京大学名誉教授」(44期)の総合司会で「観光まちづくり——ようおいでました下関へ」と言うシンポジウムが2014年6月22日に、下関市生涯学習プラザ宙のホールにて開催されました。

このシンポジウムは総合観光学会(会長は山下晋司氏)主催でした。昨年の旭陵同窓会関西支部総会での講演で、下関の美しさと観光地化の勧めを語っておられた山下氏、その思いを行動に移されたものです。

当日午後には「まなび旅・下関 高杉晋作編」と題して功山寺と東行庵を訪れ、「おもしろきこともなき世におもしろく」に続く下の句を詠むと言う山下先生らしい学び旅が開催されました。先生の同



カニ三昧

了し、次の目的地城崎温泉へと向かった。2時間あまりの自由時間で、温泉街の散策や七か所ある外湯への入浴を楽しむのがお決まりのコースとなっている。私は同期の西村君と二人で食後のゆるり散歩を選択した。昨年末にあった火事の焼け跡がまだそのままになっていた。散策の中で、特筆すべき



東行庵 世話人の神田氏

期の44期を中心に、総合観光学会会員など45名が参加しました。高杉晋作の辞世の歌「面白きこともなき世に面白く：棲みなすものは心なりけり」の上の句は確かに高杉晋作のものですが、下の句は野村望東尼が続けたことはご存知ですね。望東尼の下の句は女の優しさと仏教的諦観に溢れ晋作らしくないと思ったので、晋作が下の句まで



集合写真(城崎温泉)

は立派な休憩所が新設されており、時間調整に利用させてもらった。帰りの列車では、一人乗り遅れるハプニングがあり、幹事の犬野さんをやきもきさせたが、後で聞くと次の列車で無事に帰着されたとのことであった。今回も存分に楽しませてもらい、お世話を頂いた皆さんに感謝あるのみでした。



句会

通して詠んだらどうなるか？を皆で考え、自分なりに晋作の思想・詩心・苦悩・洒落・ユーモア・はつたりを解釈し、また自分に晋作を重ねて下の句を続けると言う楽しい旅でした。

片山 啓

院長 片山 啓(48期)

〒657-0846 兵庫県 神戸市灘区岩屋中町4丁目 2番7号
TEL 078(802)5990 神戸市委託 病児保育室プエリ 併設

医療法人

なかじま整形外科

●リウマチ科 ●リハビリテーション科

院長 中 嶋 洋(49期)

〒569-0814 高槻市富田町3丁目1番10号
☎ 072-690-3230 FAX 072-690-3231

特別寄稿

『花燃ゆ』第三の男

下関で活躍した文の夫久坂玄瑞

古川 薫

NHK大河ドラマ『花燃ゆ』の視聴率が低迷しているとメディアが冷やかしかつて報じていたが、その後どうなっているのだろうか。『会津の女』のときはあれほど騒がれたのに、長州の女は魅力がな

いのかと郷党の嘆く声も聞かれるこのごろである。

むかしから山口県では「山口男に萩女」といつてきた。萩城下の女性といえ、すぐに「尊王攘夷」と聞かばは島田くずして若衆盛の歌と踊りを思いうかべる。

深窓に育ったサムライの娘らしい気位と美しさをたたえたイメー

ジが定着していることから言えば、テレビのお文さんにはもう少しヒロインの陰影がほしいところだ。

こんどのドラマに登場するイケメンぞろいの松下村塾生たちが、のつけから「憂国の志士」づらで

大言壮語する芝居は、われわれ長州人から見ても恥ぢずかしい。対外危機感の高まりとともに沸きあ

が、副主人公の楯取素彦を後半活躍させるための伏線もあって、あくまでも「第三の男」なのだ。



久坂玄瑞

カヤの外だ。大河ドラマが長州に回ってきたといっても、県内ではしゃいでいるのは萩と防府あたりだけである。

しかし文久三年(一八六三)五月からはじまった関門海峡での攘夷戦に点火したのは玄瑞である。

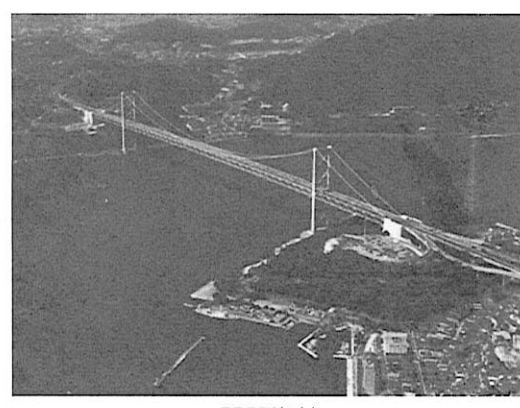
これから幕末の動乱がはじまるのであり、とくに日本史が世界史とはじめて接触したとされる攘夷戦は、維新史のハイライトというべき歴史事件である。その原点に立

つ久坂玄瑞と下関の関係を強調すれば、ドラマで彼がどうあつかわれるかは関わりなく、『花燃ゆ』の舞台として名乗り出ることができた。

とくに関門海峡という存在を広くアピールする絶好の機会だった。先日、桜の時分火の山に行つたが、チューリップ畑と満開の桜が花の雲海をなし、その向こうを流れる関門海峡のコバルトブルーが巨大な水彩画となつて圧倒された。

今のところ下関と関門海峡・攘夷戦・久坂玄瑞を結び付けて『花燃ゆ』の運動線に載せようとする動きは行政側にも民間にもその気配さえ見られなかった。

これは歴史知識の欠如というだけのものではないだろう。下関の土地柄であろうと思われる。古事記・日本書紀からはじまり、源平合戦から幕末まで日本史の中枢が



関門海峡

下関を通過した。関門海峡は下関にとつては歴史の貸舞台で、そこに暮らす人々は傍観者であつた。

しかし下関の経済基盤は、関門海峡がもたらした大自然の恩恵となつて、元禄時代にはすでに二〇〇軒の問屋があつたという。

明治維新後、馬関の老舗は店を閉じ、大正・昭和から戦後の現在までに長い歴史を持つ老舗はほとんど姿を消した。

高杉晋作の奇兵隊に私財を注ぎ込んだ勤王商人白石正一郎は、対幕戦争が終わり、関門海峡が平和をとりもどした慶応三年ごろ、商売をはじめようとしたが、資金が

ない。そこで竹崎の屋敷を三千両で買い上げてほしいと藩に願ひ出た。白石正一郎は(勤王派に)呑み

尽くされ、食べ尽くされて」と添え書きした高杉晋作が間もなく死んだので、結局うやむやにされて

櫻山招魂社の歴史

●文久三年(一八六三)

・五月十一日から六月五日にかけて五回にわたつて下関海峡を通過する外国艦船を砲撃。

・一〇月、高杉晋作の発議により、殉国の志士の神霊を祀る招魂場を築くことになつた。

・一二月奇兵隊が下関に転陣、候補地を下関に求めた。

●元治元年(一八六四)

・正月二十三日、長府藩政府と協議、新地岡の原(通称桜山)を斎場に選定。

・八月三日より英仏蘭米連合艦隊と馬関攘夷戦。八月

しまった。

私財を注ぎ込んで勤王商人といわれた正一郎は、お宮の宮司として世を去っている。正一郎だけでなく下関の商人は、使い捨てされたかたちである。

いや下関の商人は新時代に即応できずに自滅したのだと、意地の悪い見方もあるが、それも少しはあつてはいる。

「海峡のおかげで下関の商人は座つたまま商売できた。だからみずから未来を開拓しようとする意欲がない。新時代になつてもそんな姿勢が身についてしまい、新しい勢力に足をすくわれた」ということも早くから言われてきた。

こんどの『花燃ゆ』対応を見てみると、うなずけるところなきにあらざだが、海峡を持つポテンシャルな機能が失われているわけではない。下関という都市は、近い将来ふたたび、坐つて商売で

●慶応元年(一八六五)

・八月三日招魂場落成。

●「わが国最初の招魂社」

●慶応三年(一八六七)

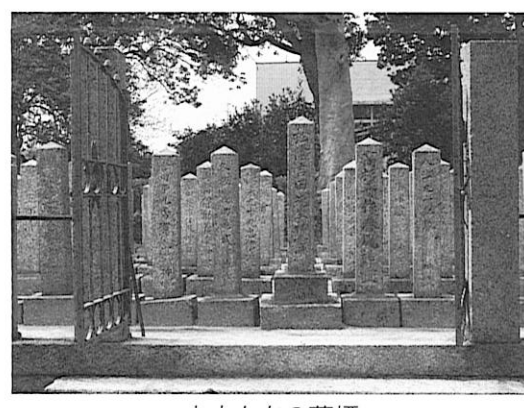
・四月一四日高杉晋作病没。

●明治五年(一八七二)

・八月二八日、防長各所の招魂場の神霊を合祀。

●昭和三十四年(一九五九)

・吉田松陰没後百年祭にあつ



志士たちの墓標

きる転機をつかむにちがいない。

一過性のテレビ・ドラマにうかれ騒がないのもひとつの見識といえるものだ。なにはともあれ、関門海峡のほとり活躍するテレビの久坂玄瑞にせいいっぱいの声援はおくることにしたい。



白石正一郎旧宅跡



桜山神社全景

・り山県有朋等追祀。

・社殿裏に進むと、吉田松陰を正面に、左右に高杉晋作、久坂義助が並ぶ

(桜山神社パンフレットより)

おいしさの感動をお伝えする!!

黒毛和牛専門店

(神戸ビーフステーキ、しゃぶしゃぶ、焼肉)

(株) 味 鉄

〈直営レストラン〉

・舞子 ・三宮 ・本山 ・西宮 等神戸一円10店舗 ・(東京)赤坂店

日本一の神戸牛で、ゆっくりグルメの世界をお楽しみ下さい。

お中元、お歳暮には地方発送もいたします。お気軽にご相談下さい。

常務取締役

舞子店長

安田 好幸 (43期)

舞子店 神戸市垂水区東舞子町2-21(JR舞子駅すぐ)

TEL 078-783-3520 アドレス <http://www.k-wind.ne.jp/ajitetsu/>

HUMAN-WARE 株式会社ヒューマンウェア

1 ホームページ診断 ホームページクリニック 現状のホームページの改善点を調べたい	2 ホームページ制作 初めてホームページを作成したい リニューアルを検討したい
3 ネット通販サイト構築 商品にあったデザインにしたい 携帯・スマートフォン対応にしたい	4 レストラン・飲食店「ネット予約サイト」 時間単位の予約ホームページが欲しい クーポン機能が欲しい
7 会員制ネット取引サイト制作 会員専用のログイン制限をかけるサイトを作りたい 会員をグループ化して特典で差別化したい	8 ネット受注サイト構築 大幅なコスト削減と可能な限り自動化したい 注文の記入ミスや転記ミスで困っている

〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町9番地 神田第三中央ビル2F
 TEL:0120-44-7512 FAX:0120-45-7512 <http://www.human-ware.net>

旭陵同窓会関西支部のホームページを
 担当させていただきます

48期 藤村 徹

西高今昔

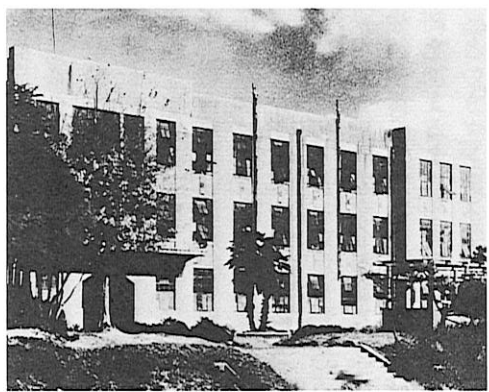
阿部 紀一郎 (54期)

「西高今昔」(第2回)

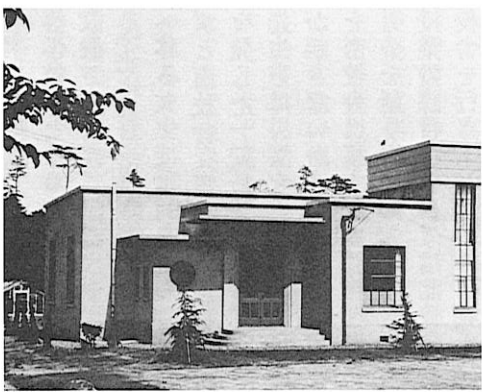
大正9年(1920年) 4月15日、私たちの「旭陵」は、下関市立下関中学校として誕生しました。百周年に向け、その歴史を振り返ることとします。

今回は四回シリーズの第二回目で、昭和初期から昭和26年の甲子園出場までです。内容は同窓会発行の「創立75周年記念誌」から抜粋転載させていただきます。

開校から10年を経た昭和5年4月9日、現在の後田町須原ノ木に鉄筋コンクリート3階建の新築校舎が完成した。それまでの校舎は現在の南高がある場所にあったのだが、丘につけられていた「旭ヶ陵」の名とともに新校舎に移転した。



新校舎



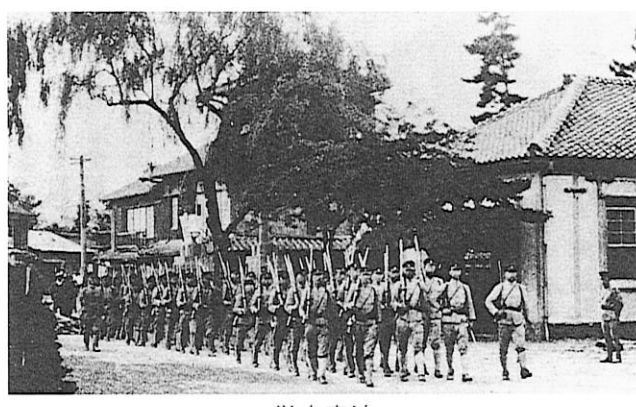
図書館

前年のウォール街の株価大暴落から始まった世界恐慌は新校舎以外を整備を許さず、体育の授業は土方の親方然の体育教官の指示のもとグラウンドの整地作業であった。鉄の扱いがうまい農家育ちは高い場所を削り、低い場所に土を埋め、体力のある者十人が大きなローラーで地ならしした。

当時、入学の際に買い揃えなければならぬものは意外に多い。制服、制帽、制靴、雨天用ゴム靴、上履用ズック、脚絆(ゲートル)、体操服、鞆、剣道具、柔道着または弓道具、図画用(パレットや絵の具などが入る)スケッチ箱、工作用具(木槌、金槌、鋸、鉋、ノミ、金曲尺が入る)ズック袋、園芸用地下足袋等、父兄の負担も大きかったと思われる。

昭和10年、これまでの制靴の黒皮短靴が編上靴になった。それに伴い緑の脚絆もスーピー皮(甲の部分に覆う皮)のつかない、いきなり編上靴の上から巻きつけてゆく「陸軍式」に変わった。

昭和15年、下関市立図書館が誕生。翌年には国鉄海底トンネル開通式が行われた。国内ではあらゆる分野に亘って軍部の強力な指導が色濃く打ち出され、小学校は国民学校と門札が書き換えられた。



営内宿泊



下関駅(昭和17年)

昭和17年元旦から食塩配給制、ガス使用割り当ての厳しい生活。2月には米や衣料配給切符制が導入され、新入生の制服はカーキ色の布目の粗い服も一着しか購入できなくなった。校舎内で使用するはずのズックの供給が底をつき「校内では教練以外は一切裸足」とのお布令が出た。

当時の九州との連絡は下関駅細江棧橋と門司棧橋を結ぶ白鳥のような関門鉄道連絡船及び竹崎と小森江を結ぶ黒鳥のような貨車航路船(外輪船)だった。貨車航路船の姿が海峡から消えたのは昭和17年であった。

この年、下関駅が現在の位置に完成。細江町の山陽ホテルは広鉄下関管理部となり繁華街も唐戸界隈から新地・竹崎町に移ってくる。昭和18年から19年の校内生活は



体育大会

ほとんど記載されていないほど勤労動員としてのものとなった。派遣先は、阿川・川棚の農作業。関門トンネルの複線化(発破・レールの継ぎ目のコンクリートを鶴嘴やハンマーで叩き落とす作業、内務省工務事務所で埋め立てや土砂セメントバラスの運搬だった。山陰列車の車掌、高射砲陣地の設置、水道局で幹線のバルブ操作等の勤務であり、学業的には週に二、三回申し訳程度の補習があったという。その後、「学校授業停止」の措置となる。

昭和19年、関門は内地として最初に米空軍機の襲撃を受ける。関門海峡、関釜連絡など大動脈だったこと、鉄をやらせないようにする狙いがあったと言われている。

昭和20年、6月・7月と二回の焼夷弾攻撃を受け死者324人、傷者1059人、被災総員4万6408人、被災家屋1万68軒との記録がある。

終戦。8月から9月にかけて教員復員、それぞれ散らばっていた

動員生徒も復校を急いだ。外地からの引揚者などの引き受けなど学校事務も大混乱であった。10月1日、復校式が行われた。

昭和21年、体育大会も復活。生徒の居住地区ごとに「東西南北」に分け、競技を争い得点を競う方式はこの年から続いている。

昭和22年の「教育基本法」「学校教育法」の公布により、4月から6・3・3・4年制、小中学校の義務教育化、23年4月から高等学校・大学も新しい形になる。昭和22年度は新旧中学校が併立することとなった。

そのため、昭和23年3月には二回の卒業式が行われた。1回目は昭和18年4月に旧制中学生として入学しさらに県立下関高等学校3年生に編入し1年を過ごした旭陵24期生84名のものであり、2回目は旧制中学5年修了資格で卒業した7名に加え昭和21年、最後の旧制中学生として入学し併設中学3年修了のまま学園を去った53名の旭陵25期生のものであった。

昭和23年4月、山口県立下関高等学校と名をあらためた。開学式には「新制高校」に中学課程を設置してスタートした。校章は下関の「関」を逆三角形にまとめ、その上に高の字を末広がりにしたデザインを重ね合わせたもので、当時の美術教官によるものであった。

翌年昭和24年、この年、高校の統廃合が行われた。

わが旭陵は県立下関高等学校と夜間の県立下関第2高等学校が統合され、校名を「県立下関西高等学校」と改められた。校章は「高」の部分だけを抜き出しリファインされ現在に至っている。このように2年の間に度重なる校名の変更など、終戦後の混沌とした時代背景を感じる。

参考までに、市内の統廃合は、(次頁へ続く)

旭陵同窓会の皆さま
ポケットです
よろしくお願ひいたします



PIANO BAR
Pocket



〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地1-11-19(北新地スタービル9F)

COFFEE & JAZZ
Cafe MINT
カフェ・ミント
大阪市北区梅田2丁目5-2 新サンケイビルB1
Tel. 06-6341-5047



Cafe time 11:00-17:30
心地よいジャズが流れる店内で、
薫り高いコーヒーを
ゆっくりとお楽しみください。

Bar time 17:30-22:00
手作りのお料理でおもてなしします。
ジャズライブも不定期で開催。
土・日・祝日もパーティーの受付をしています。

濱岡 睦子 (はまおか ちかこ)
(59期)

での興行も行われた。在校生も手

[illegible]

く遊び、よく遊ぶ」であつたと回想されている。

甲子園出場

木下 毅(37期)

母校は1920年（大正9年）

に「下関市立下関中学校」として

開校し、その後校名の変遷を経て

「山口県立下関西高等学校」とい

て今に至り、2019年（平成31

年に創立百周年を迎えます。

このため旭陵同窓会を中心に、

旭陵教育財団、学校、PTAの四

者が連携し、百周年実行委員会を

設置し、百周年記念事業の具体化

について検討を重ねてまいりました。

た。

この百周年記念事業を実施する

ために同窓生お一人お一人のご志

援が必要となります。せひ、下関

西高のますますの発展のために

	期	氏名	勤務先
支 部 長	48	上村 繁典	誠商会
副支部長	52	永地 英仁	帝人フロンティア
幹 事 長	54	阿部紀一郎	大阪ガス
副幹事長	55	田底 成智	中央復建コンサルタンツ
事務局長	53	大野 浩史	SMBCサービサー
会 計	64	柴田 徹也	プルデンシャル・ジブラルタエージェンシー
会計監査	45	唯岡 和夫	ダイハツ工業
常任幹事	49	中嶋 洋	なかじま整形外科
同	50	来島 達夫	JR西日本
同	56	山田 浩幸	鴻池組
同	56	中谷 幸一	オンワード・パーソナル・スタイル
同	57	川野 博義	日建設計
同	58	新田浩二郎	大林組
同	59	濱岡 睦子	カフェメント
同	60	南 左千夫	大阪ガス
同	62	三戸 和子	自宅
同	62	岡部 和弘	ベガフォート
顧 問	27	空谷 俊和	自宅
同	33	安野 洋一	自宅
同	43	門田 宰	自宅
同	44	竹内 正文	関西文化学術研究都市推進機構

關西支部事務局

〒669-1347 三田市つつじが丘南4丁目16番14号 大野 浩史
TEL・FAX：079-568-1535 Email:h-ohno0828@hera.eonet.ne.jp

小野 俊彦氏（33期）
2014年11月ご逝去

編集後記

◆昨年の講演会。高橋さんの「症状と治癒の可能性」の解説は明快で納得です。西原さんの山伏修行は大変なだけに霊力も身につくのでは？ ほら貝の音色に魔除けの念が感じられたのは私だけでしょうか。

◇20回記念の今回、大河で幕末長州が取り上げられていることから、古川薫先生に特別寄稿をお願いしました。下関の潜在力を発掘しない不作為を嘆き私たちへ希望を託されているように感じます。

◇ホームページには和歌山県在住の小岩俊一さんから寄贈いただいた「西高新聞」（上掲の創立40周年記念特集号参照）を掲載しています。そのほか、「活躍する仲間たち」のコーナーには先輩後輩の様子を紹介していきます。ぜひご覧になって感想をお聞かせください。

◆今回も皆さんからの寄稿、64期柴田さん中心の編集委員会及び48期中野さんが役員を務める富士精版印刷(株)さまの全面的ご協力により完成いたしました。3月初旬開始、6月初旬には校了となる編集スケジュールですが、今年は新卒採用開始時期のずれから編集会議の急な日程変更をお願いするなど皆さんにはご迷惑をおかけしました。多謝！

(阿部記)

第30回ゴルフコンペ

▼▼	場所	花屋敷
▼▼	日時	10月10日

よかわ

第28回 ハイキング

▼▼
場所 箕面
日 1月1日

日帰り力二旅行

▼日時 来年1

▼場所
いつも

15

1100